



滋賀銀行の環境金融の取り組みについて ～ お金の流れで地球環境を守る～



平成21年1月14日

株式会社 滋賀銀行

地域密着型金融の推進に関する基本方針

当行は、「地域社会との共存共栄」こそが地方銀行の目指すべき究極の姿であると考えております。

その実現のために、当行は「自己責任原則に基づく独自経営」の確立を通して、地域密着型金融の推進を図ってまいります。

具体的には、平成19年4月からスタートした新世紀第3次長期経営計画のメインテーマである「リスク管理の高度化による企業価値の向上」に努めるとともに、3つのブランド戦略（「知恵と親切のしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」）を実践してまいります。

また当行は、上記の基本方針に基づき、3つの分野「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」に対して、当行独自の「3つのブランド戦略」を通じて取り組んでまいります。

新世紀第3次長期経営計画

目指すべき姿
地域社会との
『共存共栄』の貫徹

メインテーマ
リスク管理の高度化による企業価値の向上

計画期間：平成19年4月～平成22年3月(3年間)

基本戦略

グループ力の結集による3つのC+CSR (Consolidation, Credit Risk, Cost Control+CSR)の実践

商品・サービスの向上、合理的かつ積極的なリスクテイク (Consolidation)、信用リスク管理の高度化 (Credit Risk)、生産性の向上 (Cost Control)、
環境・社会に対する取り組みの充実とコーポレートガバナンスの整備 (CSR)

営業戦略

資産の質を重視し、3つのブランド戦略を柱とした展開

知恵と親切のしがぎん

アジアに強いしがぎん

CSRのしがぎん

有価証券戦略

資本を有効
利用した
有価証券運用

リスクに見合った
リターン追求

政策投資株式の
リスク
コントロール

業務の区別

お客様のニーズに的確に応え関係強化していく業務

お客様の利便性を向上させ裾野を広げていく業務

営業行動

ソリューションの提供

取引利便性の提供

施策

ソリューションビジネスの実施

商品、仕組み・システムによる囲い込み

- 《事業性先》
 - ・新事業展開（野の花）支援
 - ・事業再生支援の強化
 - ・投資銀行業務の取り組み
 - ・アジアビジネスサポート
 - ・プライシングの取り組み強化
- 《個人先》
 - ・PFI業務の取り組み強化
 - ・預り資産の推進

- 《事業性先》
 - ・小口先に対する
効率的な推進
- 《個人先》
 - ・住宅ローンの効率的な推進と与信管理の強化
 - ・無担保ローンのマーケティング強化
 - ・カード戦略の強化
 - ・小口決済機能の充実

体制

ハード／効果的かつ効率的なチャネル網の構築

ソフト／マーケットに応じた顧客セグメント別営業推進体制の構築

- ・成長マーケットへの戦略的進出
- ・エリア特性に合わせた店舗再配属
- ・時化型店舗の設置
- ・ダイレクトチャネルの充実

- ・エリア営業体制の拡充
- ・窓口営業体制の強化
- ・効率的な個人ローン推進体制

求められる人材

ソリューション営業ができる人材を充実

← 人材資源のシフト

業務をスピーディーかつ堅牢に処理できる
人材を効率的に配置

商品・サービス開発

- ・マーケットニーズに合わせた商品・サービスの提供
- ・CSRを重視した商品・サービスの充実
- ・ソリューションメニューの拡充
- ・収益機会多様化への対応

経営ビジョンと経営戦略

当行の行是(昭和41年策定) ~ CSRの原点 ~

「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」

自己研鑽に励み、お客さまに対しては「**知恵と親切**」をもって接し、
究極は**社会に貢献**する。

- 近江商人の商人道徳である「**三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)**」が日本版CSRの源流であると認識し、行是はその精神を反映させたものであり、当行が普遍的に継承するもの。

「CSR憲章」を制定 (平成19年4月制定)

金融機関で初！！

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし」の精神を継承した「行是」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

< 地域社会との共存共栄 > **地域とともに歩み、地域社会の発展に努める**

< 役職員との共存共栄 > **ESなくしてCSなし CSなくしてCSRなし**

< 地球環境との共存共栄 > **「環境経営」を実践し、地球環境を守る**

「クリーンバンクしがぎん」キックオフ (平成11年11月) ～ 経営に環境を取り込んだ「環境経営」を展開～

環境を主軸としたCSR経営・クリーンに込めた4つの思い

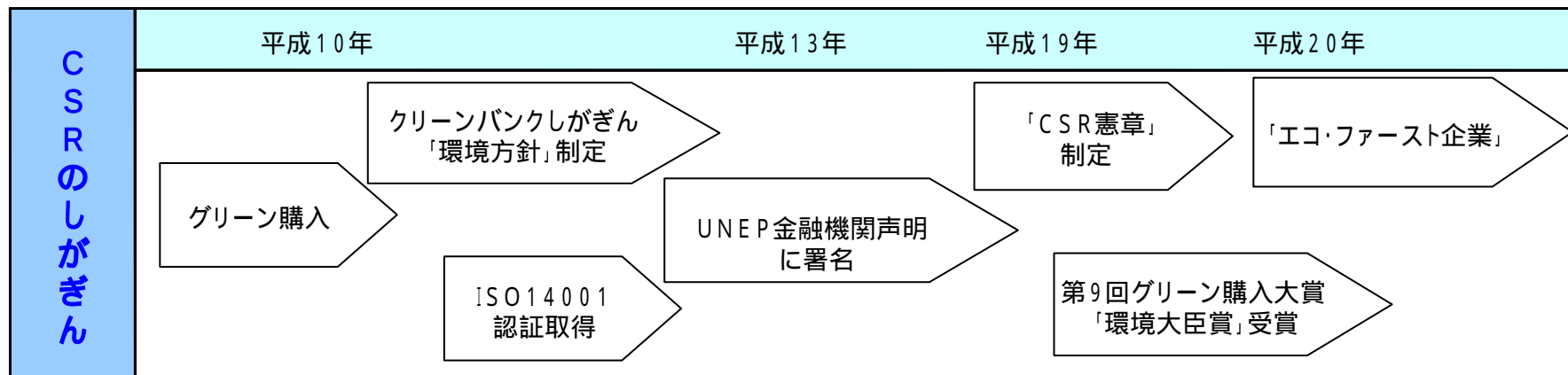
省資源・省エネルギーの「**エコオフィスづくり**」

環境対応型金融商品・サービスの開発、提供による**地域への環境保全活動**への働きかけ

倫理観の強い行員づくり

透明度の高い**情報開示**

環境経営は地域のお客さまと当行が
未来にわたって繁栄するための最重要経営戦略



心身ともに「**クリーンバンクしがぎん**」の実現に向けて、全行あげて取り組んでおります。

「環境マネジメントシステム」

～ 環境影響への2つの側面～

「ISO14001」の認証を平成12年に取得

直接的な取り組み

「エコオフィスづくり」・・・省資源・省エネルギーを実践し、環境影響をゼロに近づける。

【取り組み事例】

- ・地球温暖化ガス(CO₂)排出量削減の為に電力使用量削減 夏季と冬季にエコスタイルを実施
株主総会もエコスタイル(夏季の軽装)で開催 (平成18年6月より)
- ・「エコメール」により、地球環境の保護と紙資源削減に貢献！！ (平成19年8月より実施)

「当行から企業・家庭へゴミを持ち込まない、出さない」

宛名ラベルと開封シールは
簡単に取り外しが可能！！



間接的な取り組み

環境対応型金融商品・サービスの提供(CSR金融)

「お金の流れで環境を変える」 「お金の流れが地球環境を守る」

・・・経済の血液である「金融」の役割を通じて、地球温暖化防止をはじめとする持続可能な社会づくりに貢献できる可能性は無限大∞

取り組めば取り組むほど環境にプラスの影響を与える

クリーンバンクしがぎん

CSRの取り組みを経営計画に明定

～地球温暖化ガス(CO₂)削減～

- ・新世紀第2次長期経営計画に「地球温暖化ガス(CO₂)排出量6%削減」を掲げ、地球環境保全に取り組む（＜3ヵ年計画＞平成16年4月～平成19年3月）

平成12年度対比9.94% (822.3トン) CO₂削減

- ・新世紀第3次長期経営計画でも「CO₂・6%削減」に取り組み中

平成18年度対比21.16% (1,860トン) CO₂削減
(平成20年3月末現在)

< 具体的な取り組み項目 >

省エネ活動 (CO₂排出量削減)
植樹活動
本業を通じたCO₂の削減
自社車輛の環境対応車への切り替え



“環境金融” 「エコプラス定期」

～ 小学校の「学校ビオトープ」づくりをお手伝い～

- 定期預金をしながら環境サポート (平成15年4月取扱開始)
- 取り扱い開始からの累計 118万件 / 10,456億円 (平成20年9月末現在)

< 商品内容・CSR金融 + 社会貢献 >

- お客さまがダイレクトチャネル(ATM、テレホンバンキング、インターネットバンキング)を利用して定期預金をお預け入れいただきますと、1回のお預け入れごとに7円(<定期金> 申込用紙の紙資源消費削減分相当額)を当行が負担して積み立て、貯まった資金を環境保全活動にお役立ていただく商品。金利は、店頭表示金利 +0.1% ~ 0.2%。

< お客さまとともに環境保全活動をサポート >

→ 県内小学校の「学校ビオトープ」づくりの活動資金として10校・総額500万円を拠出しております。

【平成18年度2校、平成19年度3校に各々50万円】

今年度も5校に各々50万円、合計250万円を寄贈。



「預けてよし 預かってよし 世間・環境によし！！」

エコプラス定期で“環境学習の場”を提供 ～ ホタルの飛ぶ「学校ビオトープ」完成！～



平成20年度の助成校

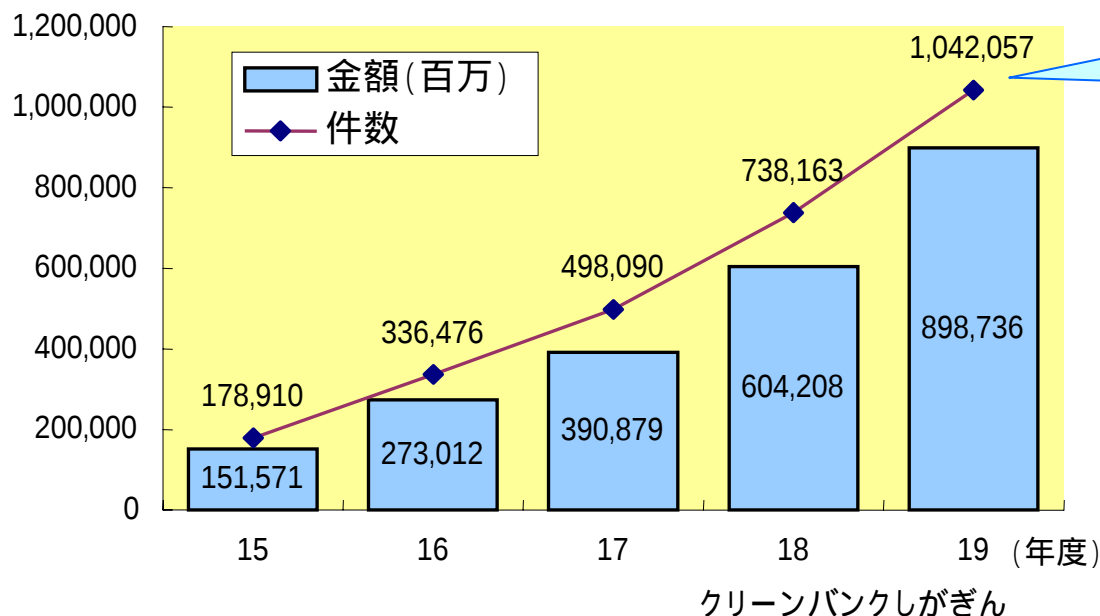
長浜北小学校

マキノ北小学校

老蘇小学校

鳥居本養護学校

近江兄弟社小学校



平成20年1月末で
累計件数100万件
を突破しました！！

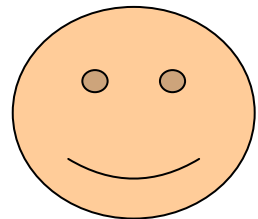


カーボンオフセット定期預金 未来の種

～ Think Globally, Act Locally ～

国内金融機関
初の取り扱い

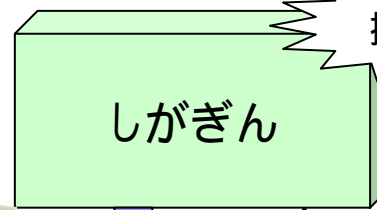
平成20年4月1日より
取扱開始



ご預金

お利息、元金

感謝カード



排出削減

無償譲渡

日本
政府



ご預金残高の0.1%の

排出権を5年間毎年購入

販売する定期預金の総額
上限を60億円とし、2,000t
分の排出権を購入するととも
に、**京都議定書**で削減目標が
定められている期間の**5年間**
(2008年～2012年)に亘り、毎
年、600万円相当の排出権を
購入、国へ無償譲渡します
【募集終了】

発展途上国での
温室効果ガス
削減事業者

温室効果ガス排出削減
(CDM事業)

排出権発生

お金の流れ

排出権の流れ

滋賀銀行が排出権の購入を通じて温室効果ガスの削減を実施
お客さまはその削減に協力、貢献いただくことができる仕組み

クリーンバンクしがぎん

しがぎん「エコ＆耐震住宅ローン」

～ 環境 + 防災意識の共有化と促進 ～

- エコ関連住宅および耐震住宅に対して金利を1.5%優遇(平成17年8月取扱開始)
 - 緑の街づくりをサポート・「樹木の苗木」プレゼント
- 取り扱い開始からの累計 2,685件/582億円 (平成20年9月末現在)



→ 滋賀県では琵琶湖西岸に断層帯が存在しており、耐震住宅建築の際の金利を優遇して耐震住宅を促進、地震被害からお客さまの生命・財産を守るためのお役に立ちたいと、同住宅ローンの取扱を開始。

< 金利優遇の対象となる住宅 >

エコウィル、ガスヒーポン等のガス
(都市ガス・LPガス)利用住宅
オール電化住宅
太陽光発電システム導入住宅
耐震住宅



< 「しがぎん」セレクトリフォームローン >

省エネ住宅・太陽光発電設置工事などのエコ関連住宅のリフォームローン

「しがぎん」エコ・クリーン資金

金融機関で初！

～お客さまの環境保全をお手伝い～

- 琵琶湖畔に本拠を置く銀行の使命として、環境保全に取り組まれる企業や事業主の皆さまに対して資金を低利でご融資

(平成10年4月取扱開始)

< 平成20年9月末実績 > 実行累計679件 / 8,341百万円

< ご利用目的に合わせてお客さまの多様な環境ニーズに対応 >

みずすましプラン(水質汚濁防止)

ISOプラン

省エネ・温暖化ガス削減プラン

リサイクルプラン

土壌汚染防止プラン

お客さまへバリューの提供



「しがぎん」琵琶湖原則 - Principles for Lake Biwa - PLB原則

お客さまに地球環境保全を広く呼びかけております

地球温暖化が原因と言われている異常気象を数多く目の当たりにする中、「**今ならまだギリギリ間に合う**」との強い危機感を持って、当行から環境保全の取り組みを発信し、「持続可能な企業と地域社会」を実現するため、地域全体で「環境を主軸とするCSR経営」を推進していきたいとの願いを込めて制定。

PLB三原則

環境配慮行動を組み込んだ生産・販売・サービス基準
環境配慮行動とビジネスチャンスの両立
環境リスクマネジメント情報の共有化

PLB格付

お客さまの「気づき」のツールとして活用



- * 「しがぎん」琵琶湖原則に賛同し、かつ「PLB格付」を希望されるお客さまを対象に実施
- * お客さまの「環境を主軸とするCSR経営」に関して、当行独自の評価基準により15項目を3段階で評価。その評価基準に応じて5ランクに区分し、最大で**年0.5%の金利優遇**を実施。

< 具体的格付評価項目 > 金利優遇の**環境格付をオープンにし環境保全を促進**

- ・省エネ、省資源 ・ISO ・環境ボランティア ・環境負荷低減、環境汚染防止
- ・事業活動における環境（CSR）配慮 ・グリーン購入・コンプライアンス等



「しがぎん」琵琶湖原則支援資金 - PLB資金 -

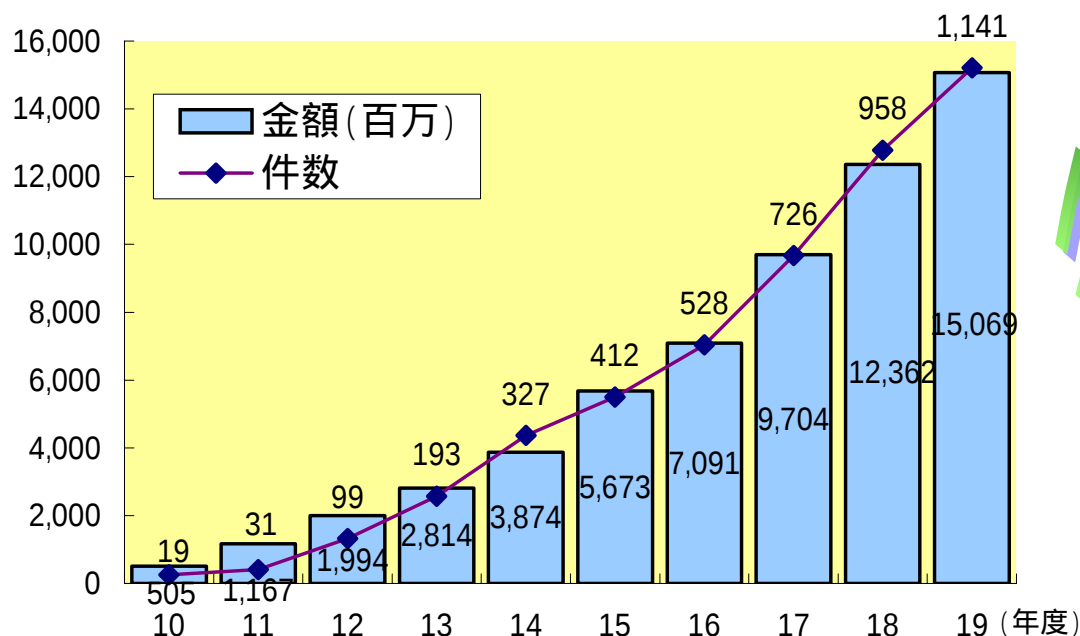
～「持続可能な社会と環境づくり」を促進～

PLBへの賛同

PLB格付を取得

PLB資金借入

- 環境保全に役立つ製品・商品・サービスの開発・販売に必要な運転資金・設備資金をご融資。
- 「環境を主軸とするCSR」活動に対し、貸出金利を最大で年0.5%優遇
(平成17年12月取扱開始)



エコクリーン資金・PLB資金実績累計

クリーンバンクしがぎん

グリーンイズグリーン

< 平成20年9月末実績 >

賛同企業	3,322件
格付取得先	2,797件
実行件数	537件
実行金額	80億

【環境と経済の両立】



事業者向け環境配慮型融資

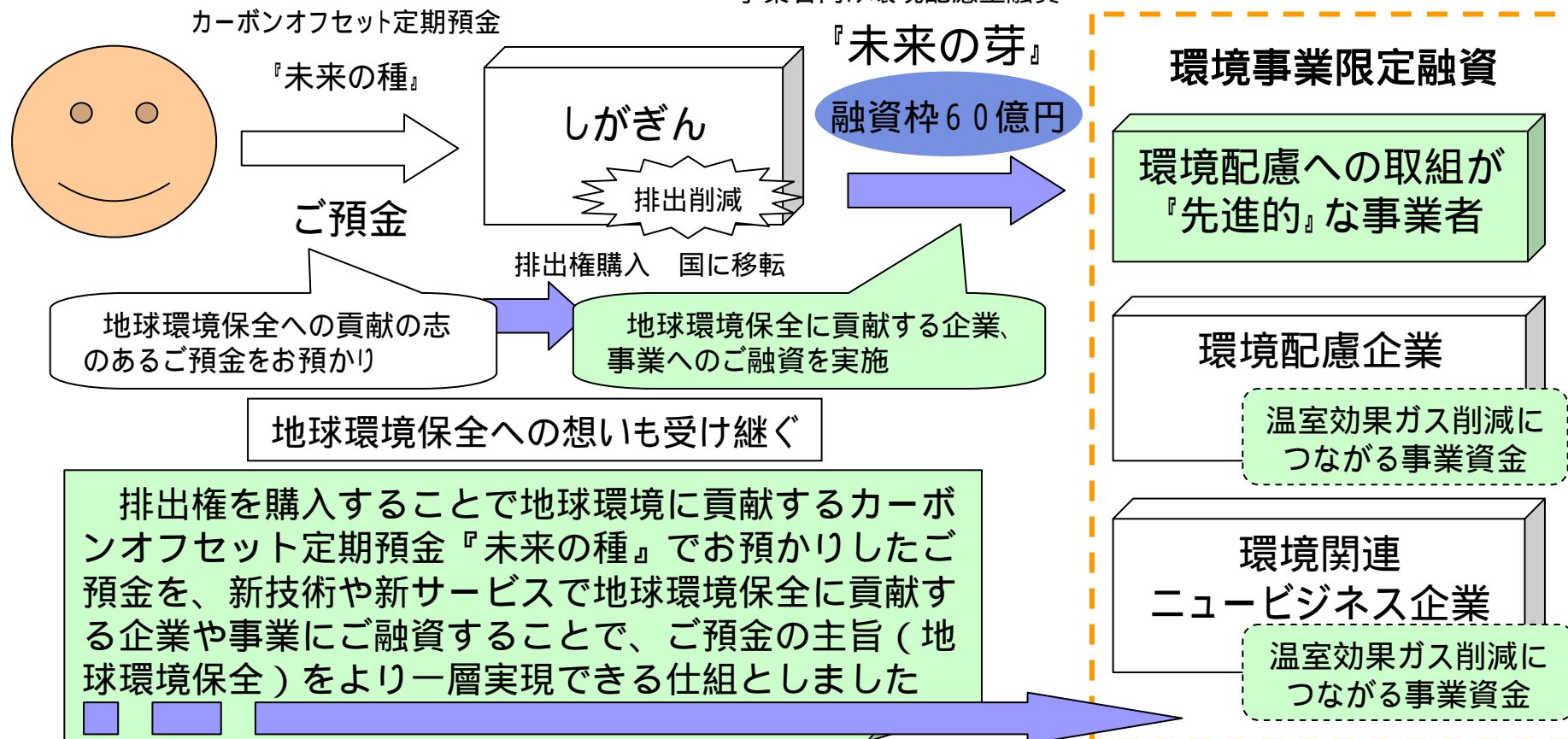
『未来の芽』～エコのかけはし～

平成20年7月7日
北海道洞爺湖サミットより
取扱開始【販売終了済】

ご預金者

事業者向け環境配慮型融資

ご融資先事業者



環境を軸にしたお金の流れ(マネーフロー)

ご預金の主旨(地球環境保全)をより一層実現できる仕組み

「カーボンニュートラルローン 未来よし」

～ 独自の排出権取引でCO₂削減量に応じて「ニゴロブナ」を3万匹放流～

環境保全に“志”のあるお客さまを応援

(平成19年4月取扱開始)

< 商品特徴 >

「太陽光発電システム」等を導入されるローンについては、すでに実施している商品ごとの優遇金利幅(年0.2%～1.5%)に加えて、さらに年0.1%金利優遇。

「太陽光発電システム」導入等で削減されたCO₂量(約351t)を当行が試算し、「ニゴロブナ・ホンモロコ増殖事業」を展開中の滋賀県水産振興協会へ「ニゴロブナ」放流費用として120万円を拠出。

琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ」を3万匹放流し、琵琶湖の環境と生態系を保全しCSRを追求。

CO₂削減量に応じて
琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」を放流



ニゴロブナ放流式を開催!



災害対策に取り組む企業を応援

～『しがぎん』事業者向けBCPサポートローン～

- 全国に先駆け、災害対策の「コンサルティング」から「ご融資」までを一貫してサポートする商品(平成18年8月取扱開始)

<平成20年9月末実績> 8件 / 280百万 ・災害リスクコンサルティング218件

<対象>

- ・地震を中心とした自然災害発生時に受けるダメージを最小限に抑えるために企業が行う、防災施設等の整備に必要な設備資金(耐震補強・コンピューターシステムの保全・情報システムのバックアップ等)
- ・BCPを作成するために必要なコンサル費用



「BCAOアワード2007」で大賞を受賞！！(平成20年4月)

BCPの普及や実践に貢献した個人や企業を表彰するもので、当行のBCPや、「BCPサポートローン」「災害リスクコンサルティング」など、金融機関の業務を通じてBCPの普及に取り組んでいることが評価されました。



BCP(Business Continuity Plan)=事業継続計画

クリーンバンクしがぎん



エコビジネスマッチングフェア開催

エコビジネスの進化を実感《B to B》

平成20年7月22日

当行の取引先で、環境ビジネスに積極的に取り組む
中堅・中小企業75社を集め、

「エコビジネスマッチングフェア」を初めて開催！



「エコビジネス」をサポート

来場者数1,821名

商談成立359件

「環境力」と「金融力」の融合



エコビジネスフォーラム2008

サタデー起業塾(年5回土曜日開催)

ニュービジネス(野の花)の育成が
地域金融機関の使命と考え、平成12年より
「ニュービジネスフォーラム『サタデー起業塾』」を毎年開催。



年5回開催

大学と連携し「環境ビジネス」の最前線を紹介
「環境ビジネス」に特化した
「エコビジネスフォーラム」を開催

産・学・官・金融の連携により
「エコビジネス」にチャレンジ

「環境力」と「金融力」の融合



環境省に「エコ・ファースト」の約束を宣言！

- 環境省が創設した「エコ・ファースト制度」に、
金融業界初のエコ・ファースト企業として認定（平成20年7月1日）

全国で7番目
の認定

「エコ・ファーストの約束」

“お金の流れで地球環境を守る”との
気概で、環境対応型金融商品を積極
的に推進します。

地球温暖化の防止・循環型社会の
形成に向けた取り組みを積極的に推
進します。

上記取り組みの推進状況・結果について環境省
への報告及びCSRレポートによる公表を行ってま
いります。



エコ・ファースト制度

環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくため、企業が環境大臣に対し、京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度として、平成20年4月に設けられたもの。現在の認定企業は21社。

金融機関・滋賀銀行ならではの、「環境経営」を実践

～ 環境を主軸とした地道なCSR活動が、お客さまのご支援により高く評価～



< 第9回「グリーン購入大賞」表彰式 >



< 「第5回企業フィランソロピー大賞」表彰式 >

- ・第9回「グリーン購入大賞」環境大臣賞を受賞(平成19年10月)
- ・「第5回企業フィランソロピー大賞」大賞受賞(平成20年2月)
- ・第12回「新エネ大賞」新エネルギー財団会長賞受賞(平成20年2月)
- ・平成19年度「関西エコオフィス大賞」大賞受賞(平成20年7月)
- ・第12回「環境経営度調査」日本経済新聞社金融部門で第4位
- ・「平成20年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞(平成20年12月)

「CSRのしがぎん」に関する数値目標と実績について

取り組み項目	平成22年3月末 目標	平成20年9月末 実績		取り組み分野		
新世紀第3次長期経営計画 挑戦指標			平成20年9月末 進捗率	ライフサイ クルに応じ た取引先企 業の支援の 一層の強化	事業価値を 見極める融 資手法をは じめ中小企 業に適した 資金供給手 法の徹底	地域の情報 集積を活用 した持続可 能な地域経 済への貢献
連結ROE	5%以上	0.47%				
連結自己資本比率	11%程度	9.93%				
連結Tier1比率	9%以上	9.59%				
単体OHR	60%以下	78.01%				
CO ₂ 排出量	(2006年度比較) 6%削減	21.16%削減				
「知恵と親切のしがぎん」に関する取り組み						
債務者区分ランクアップ先数 (対象先数220先)*平成20年9月末現在	60先	28先	46.6%	○		
中小企業再生支援協議会の活用件数	21件	9件	42.8%	○		
ニュービジネスサポート(コーディネート活動)件数	100件	27件	27.0%	○		
ビジネスマッチング件数	2,000件	727件	36.3%	○		
事業承継提案件数	360件	168件	46.6%	○		
スモールビジネスローン件数	3,000件	814件	27.1%		○	
スモールビジネスローン金額	150億円	51億円	34.0%		○	
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み						
アジア進出アテンド件数	3,600件	1,452件	40.3%	○		
中国進出アドバイザー契約件数	10件	4件	40.0%	○		
海外ミッション、海外商談会	各3回	各1回	33.3%	○		
中国企業とのビジネスマッチング取り組み件数	10件	4件	40.0%	○		
クロスボーダーローン件数	10件	7件	70.0%	○		
クーポンスワップ件数	60件	53件	88.3%	○		
特約付外貨定期預金件数	100件	54件	54.0%	○		
「CSRのしがぎん」に関する取り組み						
エコ&耐震住宅ローン件数	3,500件	586件	16.7%			○
エコプラス定期件数	850,000件	454,141件	53.4%			○
PLB(しがぎん琵琶湖原則)賛同書取入件数(累計)	2,000件	3,322件	232.2%			○
PLB資金・エコクリーン資金件数(実行累計)	1,400件	1,216件	58.4%			○
PLB資金・エコクリーン資金金額(実行累計)	180億円	161億円	67.4%			○
災害リスクコンサルティング件数(累計)	100件	218件	281.5%			○

については商品導入以降の累計を目標としており、進捗率は平成19年3月期末実績からの進捗を記載しております。

CO₂排出量削減の実績値算出については通期のみとしているため、本欄には平成20年3月末の実績を記載しております。平成20年3月末現在では、CO₂排出量は新事務棟の稼働により1.58%増加しましたが、排出権を2,000t購入し、カーボンオフセットすることにより21.16%削減いたしました。

「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」

～ 県と経済界(産・学・官・金)の共同プロジェクト～

炭素中立県～低炭素社会をめざして～

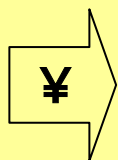
炭素中立県

めざすのは

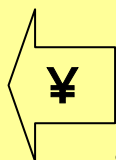
環境にかかる影響を少なくしながら
経済を発展させる仕組みづくり

環境への対応をビジネスチャンス
として捉える経済の仕組みづくり

事業者・生活者



しが
炭素基金



削減を担う事業者



どうしても削減できないCO₂

・CO₂を削減できる新事業
・新規森林整備開始

どうしても減らせない部分については、自然エネルギーや森林整備などのために資金を提供することで相殺し、集まった資金を“しが炭素基金”を通じて新事業の支援などに充てる。

2030年までにCO₂を半減。

カーボンニュートラル滋賀を究極の目標に。

経済活動の在り方を革新する。

エコイノベーション先端県

< 5つのテーマ >

- ・水の技術
- ・新時代のエネルギー
- ・食と農
- ・エコを基盤とした街・交通・暮らし
- ・その他、明確に持続可能な社会の実現に貢献する事業

5つのテーマに沿った環境・健康・LOHAS関連の新規事業・プロジェクトを積極的に育成し、滋賀県全体を「緑のシリコンバレー」といわれるような経済・生活圏に発展させる。

そのために、様々な投融資の仕組み、大学や研究機関による支援や共同研究などを推進！

滋賀県を環境・健康・LOHAS産業のシリコンバレーに匹敵する魅力的な経済・生活圏に。

環境を主軸とした「CSRのしがぎん」をめざして ～「三方よし」から「四方よし」へ～

■ “Think Globally ,Act Locally”

- ・地域の皆さまにあらゆる角度から働きかけ、
地域社会の環境保全への取り組みをサポート
- ・地域のエコ・ベストプラクティスを全国・世界へ発信



琵琶湖はクリーンに、経済はホットに！地球を愛す(ICE)!



四方よし = 「売り手よし 買い手よし 世間よし 地球環境よし」

滋賀銀行はお客さまの環境配慮行動を金融面から
バックアップし、環境ビジネスを支援してまいります。

本日はありがとうございました。